

事業報告書

(平成22年4月1日より平成22年11月30日まで)

I. 事業に関する事項

1. 顕彰事業

1.1 C&C賞の受賞者の選考・決定

平成22年2月16日に開催された平成21年度第3回審査委員会、ならびに同3月3日に開催された平成21年度第3回評議員会及び理事会において、2010年度C&C賞の募集要項及び募集から選考に至るスケジュールが審議・承認された。

これを受けて、平成22年4月15日に財団事務局から国内263名、海外180名の有識者宛に推薦依頼状を発送し、締切り期日の同5月28日までに、国内外あわせて38通、35件の候補者(グループ)の推薦を得た。これにより過去10年の累積候補者数は166件となった。

受賞者選考に当たっては賞の意義に照らして慎重な選考を行うため、第1回審査委員会の前に予備審査委員会が平成22年6月24日に開催され、累計166件の候補者から6件に絞り込みが行われた。続いて平成22年7月6日に平成22年度第1回審査委員会が開催され、慎重な審議の結果、2010年度C&C賞受賞候補者として次の2グループ3名が選考された。

グループ A

榊 裕之 博士 豊田工業大学 学長
東京大学 名誉教授

荒川 泰彦 博士 東京大学 ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構長
東京大学 生産技術研究所 教授

[業績記] 量子細線・量子ドット半導体デバイスに関する先駆的・先導的貢献

グループ B:

リーナス トーバルズ博士 リナックスファウンデーション フェロー

[業績記] Linux カーネルの開発とオープンな基本ソフトウェア開発モデルの提唱

この選考結果を受けて平成22年7月21日に平成22年度第2回評議員会及び第3回理事会が開催され、審査委員会原案の通り上記2グループ3名を2010年度C&C賞受賞候補者として内定した。

各候補者に連絡をとり、いずれの候補者も受賞を快諾され、ここに2010年度C&C賞受賞者を正式に決定した。

1.2 NEC C&C財団25周年記念賞の制定と受賞者の選考・決定

6月24日に開催された予備審査委員会にて、審査委員より今年が当財団の25周年に当たることから、今年度はそれを記念した賞を制定することが提案された。第1回審査委員会で受賞者が審議され、第2回評議員会及び第3回理事会にて次の2名を受賞者に決定した。

上杉 邦憲 博士 宇宙航空研究開発機構 名誉教授

川口 淳一郎 博士 宇宙航空研究開発機構
宇宙科学研究所 宇宙航空システム研究系 教授
研究主幹、月・惑星探査プログラムグループ
プログラムディレクター
”はやぶさ”プロジェクトマネージャー

[業績記] 地球圏外天体への離着陸と地球帰還を世界で初めて実現した『はやぶさ』の通信・制御を核とする総合システム技術の開発

1.3 表彰式典

2010年度C&C賞及びNEC C&C財団25周年記念賞の表彰式典を、平成22年11月24日(水)午後3時からANAインターコンチネンタルホテル東京において挙行了。まず贈呈式では、招待者と一般参加者計約120名の列席のもとで、末松審査委員長より両賞の受賞者及び受賞理由の発表があり、次に佐々木理事長より、両賞の受賞者に賞牌などが手渡された。続いて受賞者による受賞講演があり、その後、式典参加者を交えたカクテル、受賞者及び招待者によるディナーパーティーが行われた。

1.4 C&C若手優秀論文賞

審査対象論文73件について平成22年9月3日から10月29日にかけて、独創性、有効性等の観点から予備審査が行われ、その中から9件の受賞候補論文が選考された。これら受賞候補論文の中から、平成22年12月7日に開催される平成22年度第2回審査委員会において、2010年度C&C若手優秀論文1件が決定される。

2. 研究助成事業

平成22年3月3日に開催された平成21年度第3回評議員会及び理事会において平成22年度事業計画及び予算が審議され、前年度と同様に国際会議論文発表者助成、外国人研究員助成、及び博士後期課程進学者助成の実施を決定し、研究助成費予算総額を2,250万円とした。なお、博士後期課程進学者助成は、前年同様新規募集は行わず、継続者への受給のみとすることとした。

2.1 国際会議論文発表者助成

平成22年度国際会議論文発表者助成は、前年までと同様に前期と後期の年2回の募集(公募)を行った。応募と助成の実績は次表の通りであった。

	前 期	後 期	年間計
応 募 (名)	96	89	185
助 成 (名)	39	40	79
助成額(万円)	811	724	1,535

2.2 外国人研究員助成

平成22年度外国人研究員助成は、前年度と同様年一回公募による募集を行なった。助成者は平成21年12月8日に開催された平成21年度第2回審査委員会において3名を内定した。なお、助成期間は平成22年4月より1年間とし、助成額は1名あたり月額12万5千円、年間150万円とした。

応 募 (名)	36
助 成 (名)	3
助成額(万円)	450

2.3 博士後期課程進学者助成

博士後期課程進学者助成については、平成21年度に続き平成22年度も新規募集を行わず、平成19年度に選考した平成21年度進学者1名に後期課程3年次分助成金200万円を、また平成20年度に選考した平成22年度進学者に後期課程2年次分助成金200万円をそれぞれ支給する予定である。

II. 総務に関する事項

1. 理事会・評議員会

平成22年度中に次の理事会及び評議員会が東京都港区白金台五丁目7番16号日本電気泉華荘会議室もしくは東京都港区芝五丁目7番1号日本電気本社ビル会議室において開催され、各議案が審議・承認された。

- (1) 平成22年度第1回理事会
 (平成22年5月19日 於:日本電気本社ビル会議室)
 第1号議案 平成21年度事業報告書及び財務諸表承認の件
 第2号議案 収支差額処分の件
- (2) 平成22年度第1回評議員会 (同上)
 第1号議案 平成21年度事業報告書及び財務諸表受領の件
 第2号議案 理事・監事選任の件
- (3) 平成22年度第2回理事会 (同上)
 第1号議案 理事長、専務理事互選の件
 第2号議案 常勤役員報酬の件
 第3号議案 事務局長委嘱同意の件
 第4号議案 評議員委嘱同意の件
 第5号議案 最初の評議員の選定委員の選任の件
 第6号議案 評議員選定委員会への評議員推薦の件
- (4) 平成22年度第2回評議員会 (平成22年7月21日 於:泉華荘会議室)
 第1号議案 2010年度C&C賞受賞候補者審議の件
 第2号議案 NEC C&C財団25周年記念賞審議の件
 第3号議案 今後の財団運営方針案審議の件
 第4号議案 公益財団移行に伴う定款変更案審議の件
- (5) 平成22年度第3回理事会 (同上)
 第1号議案 2010年度C&C賞受賞者決定の件
 第2号議案 NEC C&C財団25周年記念賞決定の件
 第3号議案 今後の財団運営方針案承認の件
 第4号議案 公益財団移行に伴う定款変更案承認の件

2. 公益財団法人への移行

公益法人への移行手続を下記のとおり行った。

平成21年

- 11月30日 「平成21年度臨時評議員会/理事会」開催
 ・公益移行を前提とした今後の財団運営の討議
 ・移行スケジュール案の報告

平成22年

- 3月3日 「平成21年度第3回評議員会・理事会」開催
 ・最初の評議員の選定方法の打診
 ・定款変更案の報告
- 3月29日 「最初の評議員の選任方法の許可申請書」提出

宛先：経済産業大臣

- 4月12日 「最初の評議員の選任方法の許可」受領
- 5月19日 「平成22年度第2回理事会」開催
 ・最初の評議員の選定委員の選任
 ・評議員選定委員会への評議員推薦
- 7月15日 「最初の評議員選定委員会」開催
 ・最初の評議員選定委員会運営規則審議及び承認
 ・最初の評議員選任
- 7月21日 「平成22年度第2回評議員会・第3回理事会」開催
 ・公益財団移行を踏まえた今後の財団運営方針案
 審議・承認
 ・公益財団移行に伴う定款変更案審議・承認
- 8月20日 内閣府に公益財団法人移行を電子申請
- 11月19日 内閣総理大臣より移行認定書の交付
- 12月1日 公益財団法人NEC C&C財団として登記

3. 平成22年度事業日誌

- －各理事会、評議員会の議題は上記「Ⅱ-1項」に記載
- －公益財団法人への移行手続関連は上記「Ⅱ-2項」に記載

平成22年

- 5月19日 平成22年度第1回理事会、第1回評議員会及び
 第2回理事会開催
- 6月24日 平成22年度予備審査委員会開催
 － 2010年度C&C賞受賞候補者の予備審査
- 7月 6日 平成22年度第1回審査委員会開催
 － 2010年度C&C賞受賞候補者の選考
 － NEC C&C財団25周年記念賞受賞者選考
- 7月21日 平成22年度第2回評議員会及び理事会開催
- 11月24日 2010年度C&C賞およびNEC C&C財団25周年記念賞
 表彰式典を挙げる

この間、平成22年9月に国際会議論文発表者助成の書類選考が審査委員
 により行われた。